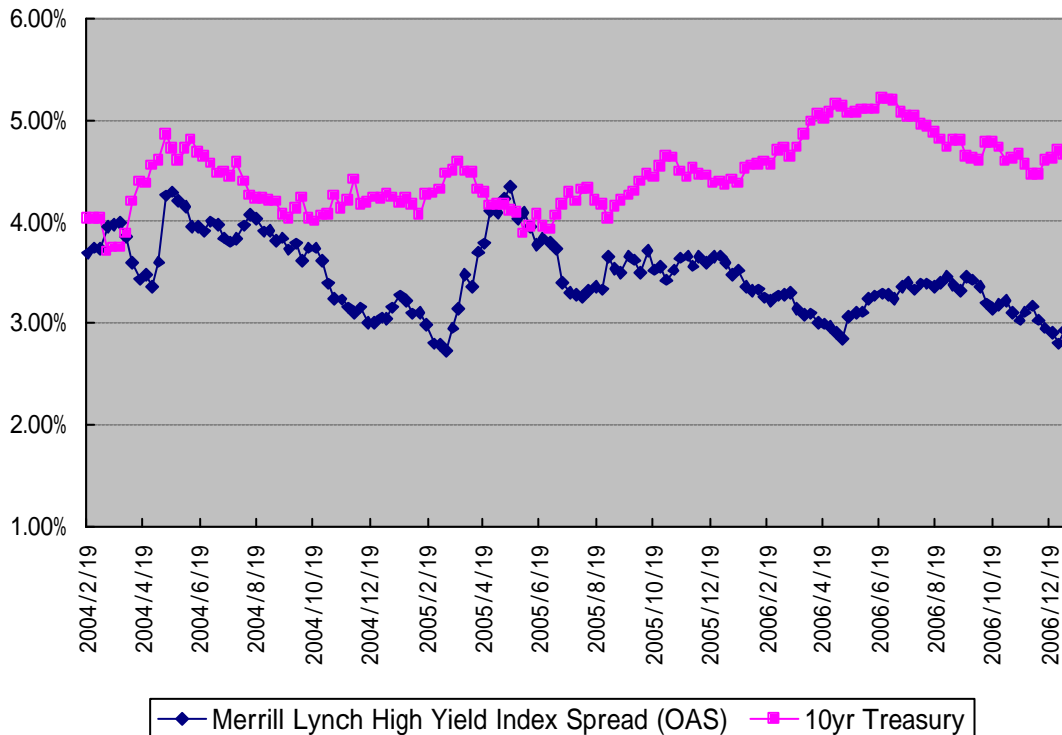


## 米国社債市場

市場コメント(1月27日～2月2日の週)

ついに来るべきものが来たか・・・というニュースであるが、社債のプライシングモデルに CDS を加えた、とモルガンスタンレーが発表した。従来社債のプライシングモデルは、「UST プラス X」という極めて単純な足し算モデルだった訳だが、それに CDS のスプレッド、当然ボラティリティーを加えてプライシングするというのだから、中には失業するトレーダーもいるだろう。何れにせよ 50C スプレッドなどというオファービッドスプレッドを享受していた各社にとっては一大事で、いずれ社債はハイイールドを含め 10C スプレッドといった時代になるだろう。それはそれで流動性の向上に寄与する訳で、引き続き社債のスプレッドはタイトニングの方向と考えるしかない。

ハイイールド債券スプレッドと米国10年債利回り



本資料は、証券投資の参考となる情報の提供を目的としており、証券の売買勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料は信頼できるとされる情報に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。